

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開

2022年1月21日作成 第1.0版

研究課題名	川崎市をモデルとした良質かつ適切な精神医療の提供の指標に関する研究
研究の承認	この研究は、「人を対象とする研究に関する倫理審査委員会」の承認を受け、学長の許可を受けて実施するものです。
研究組織	<p>研究代表者 竹島正（学校法人大正大学地域構想研究所）</p> <p>研究分担者 高瀬顕功（学校法人大正大学社会共生学部） 奥村泰之（一般社団法人臨床疫学研究推進機構）</p>
研究の目的と意義	本研究は、川崎市をモデルとして、精神障害を持った方が地域において多職種連携からなる支援により安心して暮らすことができる仕組み（精神障害にも対応した地域包括ケアシステム）の構築を推進するため、医療計画や障害福祉計画の策定の基礎資料となるデータ集を構築することを目的とするものです。
研究の方法	<p>NDB^注を活用して、2013年1月から2021年5月の間に、①精神病床入院、②精神科治療薬処方、③精神科専門療法、④精神科診断、⑤精神科管理に関する算定のある川崎市あるいは隣接二次医療圏（南多摩、北多摩南部、区西南部、区南部、横浜）に居住する方あるいは左記に所在する医療機関に受診した方を対象として、モニタリング指標を求めます。</p> <p>具体的には、通院・在宅精神療法を算定された患者数などを、居住地域区分ごとに求めます。</p> <p>注 NDB とは、厚生労働省が構築しているデータベースで、日本全国の医療機関で行われている保険診療の請求書が蓄積されているものを意味します。</p>
研究の期間	データ受領日から2年間
情報の管理	本研究で扱う情報には氏名等の個人情報を含みませんが、「匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報の提供に関するガイドライン」に定められている手順で、適正かつ安全な情報の取り扱いを行います。

問い合わせ先	学校法人大正大学地域構想研究所 竹島 正（たけしま ただし） 東京都豊島区西巣鴨 3-20-1 電話：03-3918-7311（代表）